

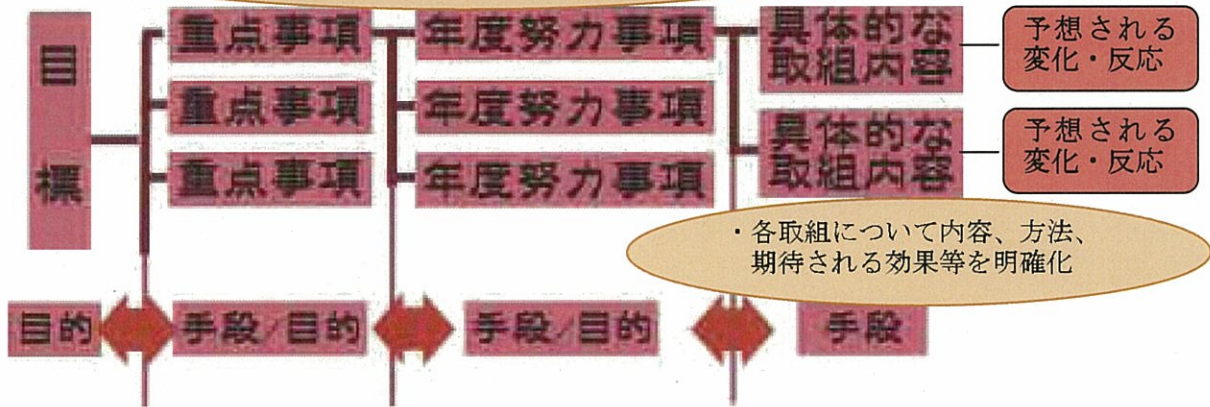
# 3 具体性のある計画の立案と実行



学校経営のビジョンを実現させるためには、具体性のある計画と見通しが必要です。多くの教職員の理解のもとに教育活動を展開するためにも、分かりやすい具体的な目標を掲げ、その目標の達成に向けた重点事項の設定や年次の計画が必要です。また、実行策を具体化する過程で、あらかじめ予測した変化や反応と比べながら、機敏に軌道修正していくことが大切です。

**【重点化・(年次)計画のポイント】**

- ・ ミッションや目的に対する効果性
- ・ 取り組みやすさと効果の現れを見通した順序性



- 実践への視点**
- ミッション（学校の使命、存在意義）に照らして具体策を定めたか。
  - ビジョン（学校の目標、めざす姿）に照らして重点化した取組を構想したか。
  - 教育活動だけでなく、経営的な活動とも関連させて計画を立てたか。
  - 「そのために何を？」という『目的→手段』のつながりはあるか。
  - 年度中途の評価や形成的な評価が機能する体制をつくっているか。

## 例：重点事項から具体的な取組への流れ

【ポイント】 目標を重点化して具体的な取組を計画！  
取組により、どのような変化・反応があるかを予想！

### 【重点事項展開シートをつくる過程】

- 目標を実現させるために重点事項・年度努力事項を探る。  
(取り組みやすさや効果性を考えて2～3に絞る)
- 努力事項を実現させるための具体的な取組を決め、変化や反応を予想する。

学校 目標	「かがやく子」		めざす 学校像	「行きがいのある学校」 「開かれた学校」	
重点 事項	基礎学力の向上をめざした授業づくり				
現 状	○与えられた課題や反復練習などには前向きに取り組むが、思考・判断・表現する力が不十分である。		目 標	○多様な活動を通して獲得した知識や技能を生かして、主体的に考えたり、考えを深めたり、表現できる。 ○自分の学び方を振り返り、さらによりよい学び方をしようと努力する児童を育てる。	
努力 事項	めざす子どもの姿	現状	具体的取組(活動)		予想される変化・反応
考 え る 力 を 伸 ば す 授 業 づ く り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に対して、自分なりの考えを持ちながら主体的に取り組む。</li> <li>・学習内容や自らの学びの姿を振り返りながら、次の学習へと生かしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が明確にわかっている学習には意欲的に取り組む。</li> <li>・課題意識を持って学んだり、自ら計画したりするなどの自主的な学び、じっくりと考えを深める学びが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業中に必ず児童が課題と向き合い考えを深める場(個別、集団等)を位置づける。</li> <li>②考えを深めたり、学習内容や自分の学習の姿を振り返ったりできるようにするため、ノートを使い方を指導する。(自己評価も含めて)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容、思考の過程がノートに残る。</li> <li>・ノートに自分の考えがまとめられる。</li> </ul> <p>予想される変化・反応を描いておくことで、評価項目や基準の設定に役立ち、形成的な評価や取組の改善・更新がしやすくなる。</p>

### 【シートに書かれたことを意識しながら実践】

- 予想される変化・反応に近づいているか意識しながら具体的な取組を行い、評価情報を蓄積する。
- 蓄積された評価情報を基に、めざす子どもの姿がどれほど達成できたのかを見極めたり、協議したりする。  
(数値化指標や達成目標の設定、スケジュール化などの工夫)